

テーマ	選んだふせん	選んだ理由	内容	動き出し
自然環境 自然環境	自然環境の整備 ・一周道路に沿っている樹木・草の刈り取り ・山登り道の滑りやすい場所に樹木の階段	きれいな島を保ちたい	○山登り道の危険防止対策 ・スベリ易い場所に樹木の階段を設置 ○海岸の清掃 ・海水浴場になっている場所の清掃 1 横山海岸 2 シヤゴシの浜 ○空家の周囲の清掃 ・空家周りの樹木の剪定、草刈り ○地域の老木の植え替え ・老木になった桜の植え替え	・声かけからスタートする
自然環境 自然環境	山の再生、海の再生 100年後、500年後 豊かな自然環境	未来のこども達に豊かな自然環境を残したい	・海岸通りの清掃 ※環境を守るための活動 ・環境（自然）教育の場とつくる	
自然環境 自然環境	内海の海 クリーン作戦 ※スポーツごみ拾いみたいなイベントにしてやってみたい…	・自然豊かな内海町をきれいにしたい ・苦痛になりつつある地区清掃に、メリット・楽しみを持たせる ・釣り人などのマナーが気になる⇒改善につなげる	・海のクリーン作戦（まずは海岸沿い） ⇒開催を重ねるにつれて盛り上がりていき、山や道路にも広がっていけると良い ・内海町に人を呼びこむ ・イベント参加の賞品を設ける ※クレセントビーチ、シーパーク大浜のチケットや（内海町にある）各飲食店の割引チケット	・アイデアを出し合う場づくり (お酒を呑みながら…集まれば良いかな)
自然環境 人とのつながり	海岸線イベント ・掃除、地引網、海ほたる鑑賞	内海町の海を活かしたい	・海の環境×楽しいイベント ①砂浜の掃除をしたり、砂浜でシーグラスを拾う ②地引網でとれた魚を使ってきれいになった海辺でBBQ ③夜まで遊んで最後に海ホタルを鑑賞する	地引網を持っていそうな人に声掛けをしたり、地域に眠っている地引網を探す
自然環境 人とのつながり	・こどもが過ごせる場所 (ウツミベースさんみたいな) ・昔海水浴がていた砂浜のごみ拾いを通して、住民同士のつながりを深めたり、海水浴ができる場をつくりたい ・島全体を学びの場にする 海・山・交流・伝統・公園 ・海岸線のごみ拾いと雑草の処理	世代を越えて環境もまちのことも考えることで、内海町全体のつながりを深める	・海のごみ拾いをこどもと大人でしたあとに、シーカヤック体験とBBQ →（澤田先生アドバイス） 釣り人を巻き込むといい。 釣具屋などにイベントのチラシを設置して、自分たちが使う海を自分たちで綺麗にしてもらう。 ・山登りをすることで地元の魅力再発見	まちづくりミーティングのメンバーがまず集まって情報交換会
情報共有・情報発信	食べ物マップ ・地元の人も知りたい ・営業日や時間	・情報の一本化（町内・町外向け） ・内海町へ遊びに来てもらえる情報発信	○お店、観光者用のマップ作成 ・内海町の人もお店のこと（営業日、時間等）をよく知らないことがある。 ○作成したマップの情報発信 (SNS、インターネット（デジタル）) ・マップをデータで作成しておけば新しいお店ができてもすぐに変更（対応）できる。	・声かけからスタートする ・会議（地域の人も）

テーマ	選んだふせん	選んだ理由	内容	動き出し
情報共有・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント内海 ・内海の魅力発信のSNS 海外にも発信 ・魅力発信するイベント・マルシェ ・名所めぐり ・おいしい内海 ・移住者を増やすために空き家バンクのHPを立ち上げる 	まずは内海町の魅力を全世界に発信 個別の取組をまとめて発信	<ul style="list-style-type: none"> ○10月26日に備後マルシェで内海町コーナーを作る ○グルメマップ・名所マップ・イベントマップを作つて定期的に更新する ○内海町全体のチャットグループで情報共有したい 	みんなで情報もちより会（という名の飲み会）を定期的にする
情報共有・情報発信	情報の共有化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・畠（耕作放棄地）などの情報共有が図れないか ・土地や建物の活用ができないか ➡どんな情報でも需要と供給がつなげることができるようにできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畠を使いたい人と畠を貸したい人をつなげる ・空き家情報の収集 など 	日時と場所を決めて集まってみる
情報共有・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の利用、島を柑橘＆オリーブの島へ（南イタリアのように） ・内海町に道の駅（海の駅）を作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が増加 ・内海町と南イタリアが似ている ・特産を買える所が島内にない 	<ul style="list-style-type: none"> ・竹炭作り（オリーブオイル）=特産物⇒雇用の創出⇒経済の発展 ・内海のどこかに拠点（道の駅）⇒ネット販売、内海の良さ発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・開墾 ・話し合い
情報共有・情報発信 人とのつながり	既存の公共施設の有効活用	もったいない	<ul style="list-style-type: none"> ○まずは、公共施設の情報をまとめる。 (時間・料金など) (食事OKかどうか) ・良い環境の公共施設の存在があまり知られていない、使用されていない。有効活用した方が良いと思うが、どのような施設があって、どのような利用許可条件があるのかが知られない。 ○公共施設の情報をまとめて情報発信することで、施設を有効活用する。また、場合によっては、その施設に人が集まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報あつめ
情報共有・情報発信 人とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・横田漁協横断ろ漕ぎレース ・トライアスロン大会 ・B級グルメ大会 ・内海町の観光マップ（サイクリスト）を作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・田島横島がひとつになってほしい ・内海への集客 ・内海の良さを知ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・田島・横島で一つになりたい 	
人とのつながり	内海町全体で集まれる場所を作りたい	人が集まらないと始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ○世代を越えた交流 ○楽しい情報共有会 ○飲み会 ○内海音頭は、みなさん知っていると思うので、みなさんが踊ったらと思う。 ・運動会、全体のお祭り、飲み会 ⇒何を行うにしても人が集まらないと何も始まらない。人が気軽に、いつでも、誰でも集まれるような場所があれば、「何かと一緒にやろう」ということになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけからスタート ・場所さがし

テーマ	選んだふせん	選んだ理由	内容	動き出し
ひとのつながり	大きな空き物件（特に横島のJA）などを活用して大交換会	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭の不要品、捨てるにはもったいない！（特にウイスキーとワイン） 各家庭の不要品でも誰かにとって必要なものかもしれない エコと交流 	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭の不要品を持ち寄る（中学校？JAのような空き物件？） 不要品出すと一品につき一枚引換券がもらえる ほしいものと引換券を交換する 午後になったら引換券不要で好きなだけ好きなものを持ち帰れる「どうぞタイム」になる →ごみを残さないイベント 	チーム（実行委員会）を作る
ひとのつながり	人のつながりを作る	<ul style="list-style-type: none"> 地域や年齢の垣根なく話をしたい 島民の情報をみんなが共有できるようにしたい ボランティアスタッフが高齢化しているので、50代60代の人も加入してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 人が集まる場所を作る（ゆるーい会なので、来ても来なくてもいいというスタンス） 興味がありそうな講座を開催。その場合は、地域の人を講師にする (例えば、料理教室を開催した場合、講師を地元の漁師の方に依頼する) 	日時と場所を決めて集まってみる
ひとのつながり	酒を呑みながら語る場が欲しい ブタと牡蠣とカレーを食べながら	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場が必要であり、人と人の繋がりが重要である みんなでお酒を呑みたい 	<p>場所：クレセントビーチ・ウツミベース・くうかい ・シーパーク大浜・中村屋・オルケ・備後ピザ ・ころりん・うつみ荘</p> <p>時期：年中（2か月に1回程度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> いつ始めるか決定する（日時の設定）
民泊	学びの場としての活性化「民泊」 (ホームステイ)	<ul style="list-style-type: none"> 次世代を担うこども達の学びの場 受入れ家庭の心の活性化 経済の潤い（地域と受入れ家庭） 	<ul style="list-style-type: none"> トレッキングコースの整備 ※民泊客が楽しむためのコンテンツ 文化・伝統的行事の継承 ※民泊客が体験できるコンテンツ 段々畠を再生してみかんなどの栽培を復活する ※民泊客を呼込むための地域の売りにする さらなる広報 ベテランの受入れ家庭からの情報共有、指導 受入れ家庭の収益確保 受け入れたこども達との事後交流 	<ul style="list-style-type: none"> 集まってほしい人や団体への声掛け
民泊	<ul style="list-style-type: none"> ・民泊事業の推進 ・空き家を利用したゲストハウス ・内海町にグリーンスクールを作りたい 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が多いし、これから増えることが予想される 民泊の受け入れ家庭の減少（需要は増加） 自然環境が素晴らしい 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家をゲストハウスとして利用。また民泊場所として利用。 移住体験場所として 都会のこどもたちの島留学（いそ遊び、竹炭作り、竹とんぼなど） 	話し合い

テーマ	選んだふせん	選んだ理由	内容	動き出し
移住	移住者が増えると良い 島の方たちは歓迎してくださる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が活性化する ・経済効果がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもがいる家庭が住みやすいような環境を整える（通学、高校） ※移住者が増えて定住してもらえるために整える前提条件 ・空家を貸してくれる人を増やす ※移住者が増えて定住してもらえるために整える前提条件 ・空家情報の提供 ・仕事情報の提供及び仕事の確保 	
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ（球技・マリン スポーツ）の拠点 ・自然の遊び場づくり 海：マリンコート 山：テニスコート、ゴルフとかあると良い 	(話合いでの具体化前) <ul style="list-style-type: none"> ・内海町には自然がある（海や山） ・地域に野球チームがくる 等 		
文化継承	灯ろう流しの昔から今までの記録小冊子	素晴らしい伝統行事をこの先も残したい！	<ul style="list-style-type: none"> ・灯ろう流しの昔の様子を聞いて、絵と文章で記録する ・（きっかけ）昔は麦わらで作っていたと聞いた ⇒灯ろうをどうやって作るのか、形どんなもの乗せるのか、 どういう手順でやるのか、思い出話などを記録し、小冊子にする ・内海町の伝統行事としてこれからも続くために、海の環境に配慮した今の時代にあった灯ろう流しにするための会議をする (例) 麦わら→木→紙と素材が変化しているが、今後も続くためにどんな素材ならよいのか 	話を聞く
その他	with行政	・行政と地域（住民）が一緒に協力しながら進めていく	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレの復活ができないか ・いこいの森の桜の復活 ・乗り合いタクシー ・海水浴場で水上バイクの使用…危険 ・舟で内海町が回れたらよい（尾道の方まで） 	